



福岡医発第 448 号 (地)
平成 28 年 5 月 6 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

平成 28 年度病理診断研修の募集について

今般、厚生労働省より下記研修に係る事務連絡が発出された旨、別添のとおり福岡県保健医療介護部健康増進課より連絡がありました。

つきましては、貴会におかれましてもご了知いただくとともに、貴会会員へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1 研修項目

平成 28 年度病理診断研修 (病理講習会 腫瘍病理診断セミナー2016)

http://ganjoho.jp/med_pro/training_seminar/doctor/pathology/index.html

2 本研修に係る照会先

国立研究開発法人 国立がん研究センター研修事務局

(有限会社アイズ・プロダクション)

〒130-0026 東京都墨田区両国 1-10-4-201

Tel : 03-3633-2939 (受付時間 : 平日 9 : 30 ~ 17 : 30) FAX : 03-5875-2855

E-mail : info-ncc-kensyu@ml.res.ncc.go.jp

小郡三井医師会より

学術担当理事 榎藤秀之
会長 廣瀬真恵

公 印 省 略

28 健 第 5 0 4 号
平成 28 年 4 月 26 日

公益社団法人 福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課長
(保健事業係)

平成 28 年度病理診断研修の募集について

本県の保健医療行政の推進につきましては、ご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、厚生労働省より下記研修に係る事務連絡がありましたので、ご多用中恐縮ですが、貴会員に対し周知していただきますようお願いいたします。詳しくは、下記ホームページでご確認ください。

なお、平成 28 年度国立がん研究センターにおける研修計画を添付しておりますので、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

記

1 研修項目

平成 28 年度 病理診断研修 (病理講習会 腫瘍病理診断セミナー2016)

http://ganjoho.jp/med_pro/training_seminar/doctor/pathology/index.html

2 本研修に係る照会先

国立研究開発法人国立がん研究センター研修事務局 (有限会社アイズ・プロダクション)

〒130-0026 東京都墨田区両国 1-10-4-201

TEL:03-3633-2939 (平日 9:30~17:30) FAX:03-5875-2855

E-mail:info-ncc-kensyu@ml.res.ncc.go.jp

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

福岡県保健医療介護部健康増進課保健事業係

TEL 092-643-3270



平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定

※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成28年3月1日現在

研修名		対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用 (税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		職種		指導者養成	病院の種類 (注1)							都道府県	会場名
がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム指導者研修		医師・看護師・地域連携担当者を含む3-5名を1チームとして参加	○地域内の緩和ケアサービスを向上するために中心的役割を担うことができる、下記の条件を満たす緩和ケアチームとする。 ・所属施設で緩和ケアチームとして活動する(1)医師・(2)看護師・(3)地域連携担当者等各1名を含む3～5名で2日間の研修全日程に参加できる ・現在、地域に向けた取り組みをしている、もしくは今後取り組む予定がある ・所属施設内の緩和ケアコンサルテーションを十分に行っている(年間新規診療依頼件数150件以上を目安とする)	○	①(②)	無	年2回 2日間	各回 8チーム	無し	○都道府県がん診療連携拠点病院の緩和ケア提供体制を強化するため、緩和ケアチームを中心として緩和ケアセンターの機能を整備するための具体的な対策を検討する。 ○都道府県内の緩和ケアに関する診療機能や地域連携の質を向上するため、PDCAサイクルに沿って改善計画を検討する。	平成28年9月10(土)～11日(日)【予定】 平成29年2月25(土)～26日(日)【予定】	東京	国立がん研究センター
がん化学療法医療チーム指導者養成研修		医師、薬剤師、看護師およびMSWを1チーム(4人)として参加	○主に、以下のすべてに該当し、各都道府県が推薦する医療機関において、がん化学療法チームとして勤務している医師、薬剤師、看護師およびMSW。 ①厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院のがん化学療法チームであることを原則とする。 ②がん化学療法にかかる業務に従事している医師、薬剤師、看護師、およびMSW。 ③がん化学療法にかかる教育を行っている者。 ④所属施設において、がん化学療法の充実を図ろうとしている者。	○	②	有	年1回 2日間	各回 8チーム	無し	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、がん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の医療レベル向上に寄与し、がん医療の均てん化の一助とする。 ○がん化学療法医療チーム(医師・薬剤師・看護師、MSW)が施設内に新薬剤を安全かつスムーズに導入することを目的とする。	平成28年9月30日(金)～10月1日(土)【予定】	東京	国立がん研究センター内 研究所セミナールーム
地域におけるがん化学療法研修実施にかかる指導者養成研修		医師、薬剤師、看護師およびMSWを1チーム(4人)として参加	○主に、以下のすべてに該当し、各都道府県が推薦する医療機関において、がん化学療法チームとして勤務している医師、薬剤師、看護師および医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)。 ・厚生労働省指定の都道府県がん診療連携拠点病院のがん化学療法チームであること。 ・医師、薬剤師および看護師においては、5年以上の臨床経験を有する者。 ・がん化学療法にかかる業務に従事している医師、薬剤師、看護師、およびMSW。 ・がん化学療法にかかる教育および研修企画を行っている者。 ・地域におけるがん化学療法の水準の向上を図ろうとしている者。	○	②	有	年1回 2日間	各回 8チーム	無し	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき企画されたもので、がん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の医療レベルの向上に寄与し、がん医療均てん化の一助とし、それぞれの地域において、がん化学療法の水準の向上を図る地域の特性を活かした研修会を開催するために、指導者を養成しかつ研修会開催に向けた支援をする。 ○各都道府県において地域の特性を活かした、がん化学療法の研修会を円滑かつ効果的に実施するために、地域のがん化学療法実施に関する問題点の抽出ができ、それを踏まえた研修会の企画立案並びに、実際に研修会を展開できることを目的とする。	平成29年2月17日(金)～18日(土)【予定】	東京	国立がん研究センター内 研究所セミナールーム
がん看護研修指導者養成研修	がん看護研修企画・指導者養成研修	看護師	○がん看護研修の企画・運営を行う者。	○	②	無	年1回 2日間	30名程度	17,280	○各施設で実施する「がん看護研修」の企画や運営を担当する看護師が、がん対策基本法やがん対策推進基本計画に基づき、がん看護や看護師の人材育成の課題を明確にし、「がん看護研修」の立案、実施、評価を効果的に行う能力を養う。	平成28年7月11日(月)～12日(火)	東京	国立がん研究センター内 特別会議室
	がん看護研修企画・指導者フォローアップ研修	看護師	○がん看護研修の企画・運営を行う者で「がん看護研修企画・指導者研修」、がん看護専門分野指導者研修「がん看護せん妄ケアコース」受講修了者	○	②	無	年1回 1日間	50名程度	無し	○がん看護に関する研修を各施設で効果的に実施するために、「がん看護研修企画・指導者研修」、がん看護専門分野指導者研修「がん看護せん妄ケアコース」を修了した看護師が、「がん看護研修」の課題を明確にし、実施・評価を行う能力を高める。	平成29年1月20日(金)	東京	国立がん研究センター内 特別会議室
	地域におけるがん看護研修企画・指導者養成研修	看護師	○都道府県がん診療連携拠点病院において、地域を対象としたがん看護に関する研修の企画・運営を行う者	○	①	有	年1回 2日間	40名程度	17,280	○都道府県拠点病院において、地域を対象としたがん看護に関する研修企画・運営を行う指導者の立場の看護師を育成する。	平成28年11月17日(木)～18日(金)	東京	国立がん研究センター内 特別会議室
	地域におけるがん看護研修企画・指導者養成研修フォローアップ研修	看護師	○都道府県がん診療連携拠点病院において、地域を対象としたがん看護に関する研修の企画・運営を行う者で「地域におけるがん看護せん妄ケア研修企画・指導者養成研修」「地域におけるがん化学療法看護研修企画・指導者養成研修」「がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム指導者養成研修」「地域におけるがん化学療法研修実施にかかる指導者養成研修」受講修了者	○	①	無	年1回 1日間	50名程度	無し	○都道府県拠点病院において、地域を対象とした研修企画・運営を行う指導者の立場の看護師のフォローアップとネットワーク作成を支援する。	平成29年1月22日(日)予定	東京	国立がん研究センター内 特別会議室
がん看護専門分野指導者研修	がん化学療法看護コース	看護師	○看護師経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。(がん看護せん妄ケアコースは、緩和ケアチーム看護師やリンクナース等として活動している看護師が望ましい)	○	②	無	年1回 4日間	各コース 50名程度	34,560	○がん診療に従事する看護師が、各分野のがん看護の専門的知識と技術を習得し、所属施設において、がん患者と家族のQOL向上を目指した主体的な療養生活を支援する能力を養う。	平成28年9月6日(火)～9日(金)	東京	国立がん研究センター内 特別会議室
	緩和ケアコース						年1回 4日間		34,560		平成28年9月13日(火)～16日(金)		
	がん放射線療法看護コース						年1回 3日間		25,920		平成28年7月20日(水)～7月22日(金)		
	がん患者の退院支援・在宅療養支援コース						年1回 3日間		25,920		平成28年10月13日(木)～14(金) 平成29年2月24日(金)		
	がん看護せん妄ケアコース						年1回 1日間		8,640		平成28年11月13日(日)		

平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定

※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成28年3月1日現在

研修名		対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用(税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		職種		指導者養成	病院の種類(注1)							都道府県	会場名
がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)	研修修了コース (国指定拠点病院のみ対象)	相談員	以下の条件すべてを満たす者 ○厚生労働大臣による指定を受けた「都道府県がん診療連携拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」「特定領域がん診療連携拠点病院」「地域がん診療病院」「小児がん拠点病院」のいずれかに所属する者 ○平成27年度までにがん相談支援センター相談員基礎研修(3)の受講歴がない者 ○「認定がん専門相談員」の認定申請予定のない者 ○相談援助を主たる業務とする医療・福祉関係の資格(看護師・社会福祉士・臨床心理士等)を有する者* *がん相談支援センター内で患者・家族に対応するものの、相談援助を主たる業務とする医療・福祉関係の資格を有していない者(診療情報管理士・事務職等)については、有資格者によるバックアップ体制が整っていることが望ましい	-	①	無	通年	無し	無し	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院においてがん相談に従事する相談員を養成するための研修。 ○以下19講義の学習コンテンツを通して、がん医療における基礎知識を学ぶ。がん相談支援センター／がん専門相談員に求められる基本的な姿勢とは、がん対策、相談支援、社会資源、臨床腫瘍学、緩和ケア、精神腫瘍学、がん予防、がん検診、診療ガイドライン、支持療法、臨床試験、肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肝がん、血液がん、アスベスト関連疾患	申込期間： 平成28年2月15日～平成28年10月末 受講期間(予定)： 平成28年2月下旬～平成29年10月末	全国	国立がん研究センターがん対策情報センター教育研修管理システム(Eラーニング)
	知識確認コース (全ての医療機関対象)		1)または2)のいずれかに該当する者 1)以下の条件すべてを満たす者 ○厚生労働大臣による指定を受けた「都道府県がん診療連携拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」「特定領域がん診療連携拠点病院」「地域がん診療病院」「小児がん拠点病院」のいずれかに所属する者 ○平成27年度までにがん相談支援センター相談員基礎研修(3)の受講歴がない者 ○「認定がん専門相談員」の認定申請予定(申請区分:新規)の者 ○相談援助を主たる業務とする医療・福祉関係の資格(看護師・社会福祉士・臨床心理士等)を有する者* 2)以下の条件すべてを満たす者 ○厚生労働大臣による指定を受けた拠点病院以外の施設に所属する者 ※「認定がん専門相談員」認定申請予定の有無は問わない ○平成27年度までにがん相談支援センター相談員基礎研修(3)の受講歴がない者 ○相談援助を主たる業務とする医療・福祉関係の資格(看護師・社会福祉士・臨床心理士等)を有する者* *がん相談支援センター内で患者・家族に対応するものの、相談援助を主たる業務とする医療・福祉関係の資格を有していない者(診療情報管理士・事務職等)については、有資格者によるバックアップ体制が整っていることが望ましい	-	③				16,200	○がん相談に従事する相談員の養成と質の維持向上を図るための研修。 ○以下19講義の学習コンテンツおよびテストコンテンツを通して、がん医療における基礎知識を学ぶ。がん相談支援センター／がん専門相談員に求められる基本的な姿勢とは、がん対策、相談支援、社会資源、臨床腫瘍学、緩和ケア、精神腫瘍学、がん予防、がん検診、診療ガイドライン、支持療法、臨床試験、肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肝がん、血液がん、アスベスト関連疾患	申込期間(予定)： 平成28年3月中旬～平成28年10月末 受講期間(予定)： 平成28年3月中旬～平成29年10月末		
がん相談支援センター相談員基礎研修(3)	国指定コース (国指定拠点病院対象)	相談員	以下の要件すべてを満たす者 1. 厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」「特定領域がん診療連携拠点病院」「地域がん診療病院」「小児がん拠点病院」のいずれかに所属する者であること 2. がん相談の専従・専任として配置されている者であること なお、専従・専任以外の者については、平成28年度内にがん相談の専従・専任として配置される予定である場合に限り申し込みを認める 3. 医療・福祉関係の資格を有する者であること* 4. 平成26年度までのがん相談支援センター基礎研修(1)(2)の受講証書、平成27年度以降のがん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)研修修了コース・知識確認コースの受講証書の交付をうけていること 平成28年度基礎研修(1)(2)研修修了コース・知識確認コース受講見込みの場合も申し込みは可能。ただし基礎研修(3)の申し込み締切日までに受講が完了し、かつ必要書類の送付期限までに受講証書と施設長の推薦書が送付されなかった場合は、基礎研修(3)受講者選考にあたり選考対象から除外される	-	①	無			無し	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院においてがん相談に従事する相談員を養成するための研修。 ○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	①平成28年7月30(土)～31(日)東京 ②平成28年8月06(土)～07(日)東京 ③平成28年8月27(土)～28(日)東京 ④平成28年9月03(土)～04(日)東京 ⑤平成28年9月24(土)～25(日)東京	①東京 ②東京 ③東京 ④東京 ⑤東京	東京:国立がん研究センター
	非拠点コース (国指定拠点病院外対象)		以下の要件すべてを満たす者 1. 厚生労働大臣による指定を受けた拠点病院以外の施設に所属する者であること 2. 現にがん相談支援に従事する者として配置され、患者・家族、地域住民等からのがん相談に対応していること 3. 医療・福祉関係の資格を有する者であること* 4. 平成26年度までのがん相談支援センター基礎研修(1)(2)または、平成27年度以降のがん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知識確認コースの受講証書の交付をうけていること 平成28年度基礎研修(1)(2)知識確認コース受講見込みの場合も申し込みは可能。ただし基礎研修(3)の申し込み締切日までに受講が完了し、かつ必要書類の送付期限までに受講証書と施設長の推薦書が送付されなかった場合は、基礎研修(3)受講者選考にあたり選考対象から除外される	-	④	無	年5回 2日間	各80名程度	32,400				

平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定

※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成28年3月1日現在

研修名		対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用 (税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		職種		指導者養成	病院の種類 (注1)							都道府県	会場名
がん相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修	事例教材の効果的な活用に向けた研修企画体験	相談員	同一都道府県内のがん専門相談員2～3人1組のチームを対象とします。チームメンバーは、チームメンバーは異なる施設に所属する者で構成されることが望ましく、また以下の要件全てを満たしている者を対象とする 1. がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)および指導者研修を修了していること。 2. がん相談支援業務に携わる実務者であること。 3. 施設長の推薦を受けていること。 ただし、厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」に所属しない者は、都道府県がん診療連携協議会の下に組織される相談支援に関する部会の部会長の推薦を受けていること。 4. 各都道府県における相談員のための研修企画への意欲・実績がある者。 ※本研修は、個人として知識や技能を学ぶだけでなく、各都道府県での相談員の継続教育に携わる人材を支援することを目的とする。そのため、各都道府県の研修企画者等に本研修の実践的な学びを還元、普及し役立てることを前提とした参加が必要。 ※相談員指導者フォローアップ研修「研修企画コンサルテーション」(7/16)の受講には、同研修「事例教材の効果的な活用に向けた研修企画体験」(7/15)の受講を必須とする。	○	②	無	年1回 1日間	50名程度	10,800	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を支援することを目的とした研修 ○相談員指導者研修修了者が、本研修に継続的に参加することで、がん相談支援センターにおけるPDCAサイクルの確保の一環として、実際の研修企画力の向上に役立てる 一つの教材に多様な活用方法があるという発想力や企画力を養い、効果的な教材活用ができるようになることを目指す	平成28年7月15日(金)	東京	国立がん研究センター (セミナールーム)
	研修企画コンサルテーション						年1回 1日間	50名程度	10,800	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を支援することを目的とした研修 ○相談員指導者研修修了者が、本研修に継続的に参加することで、がん相談支援センターにおけるPDCAサイクルの確保の一環として、実際の研修企画力の向上に役立てる ○研修企画者が抱える課題、問題を中心にコンサルテーションを受け、中・長期的な視点で研修の方向性について見直し、各々の研修もより効果的、具体的に企画できることを目指す	平成28年7月16日(土)		
がん相談支援センター相談員継続研修	認定取得コース	相談員	平成27年度までに「がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)」を修了している者 ※「国立がん研究センター認定がん専門相談員」の認定取得済みの者を除く ※所属施設は問わない	-	③	無	通年	無し	16,200	○基礎研修修了者の知識・情報の更新を目的とした研修 ○以下28講義の学習コンテンツおよびテストコンテンツを通して、がん医療における基礎知識を学ぶ。 がん相談支援センター／がん専門相談員に求められる基本的な姿勢とは、がん対策、相談支援、社会資源、臨床腫瘍学、緩和ケア、精神腫瘍学、がん予防、がん検診、診療ガイドライン、支持療法、臨床試験 肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肝がん、血液がん、アスベスト関連疾患 放射線治療、がん薬物療法、がん登録、がん就業、病気の子どもにとっての教育、病気療養中・入院中・退院後の教育の制度や体制、膀胱がん、婦人科がん、前立腺がん	申込期間(予定): 平成28年4月中旬～平成28年10月末 受講期間(予定): 平成28年4月中旬～平成29年10月末	全国	国立がん研究センター がん対策情報センター 教育研修管理システム (Eラーニング)
	認定更新コース	相談員	「国立がん研究センター認定がん専門相談員」の認定取得済みの者 ※所属施設は問わない	-	③	無	通年	無し	5,400	○「国立がん研究センター認定がん専門相談員」の認定取得者の知識・情報の更新を目的とした研修 ○以下15講義の学習コンテンツおよびテストコンテンツを通して、がん医療における基礎知識を学ぶ。 がん相談支援センター／がん専門相談員に求められる基本的な姿勢とは、がん対策、緩和ケア、がん検診、肺がん、血液がん、放射線治療、がん薬物療法、がん登録、がん就業、病気の子どもにとっての教育、病気療養中・入院中・退院後の教育の制度や体制、膀胱がん、婦人科がん、前立腺がん	申込期間(予定): 平成28年4月中旬～平成28年10月末 受講期間(予定): 平成28年4月中旬～平成29年10月末		
がん相談支援センター指導者等スキルアップ研修 「情報活用・相談対応モニタリング研修」		相談員	○以下の要件全てを満たしていること ① 厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」等に所属する者、または、認定がん専門相談員の認定取得予定の者、または、認定がん相談支援センターの認定取得予定の施設に所属する者であること ② がん相談支援業務に携わる実務者であること ③ 医療・福祉関係の有資格者であること ④ がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)を修了していること (平成28年度修了見込みを含む) ⑤ 全日程(2日間)に参加可能であること ⑥ 所属長の推薦を得られること	-	②	無	年4回 各2日間	各日程4名 (計16名)	16,200	○信頼できるがん情報を提供するための情報活用方法、整理方法などを学び、自己および他の相談員の事例をもとに相談対応モニタリングを体験し、相談対応のスキル向上を旨とし、研修での学びを施設や地域に還元、普及できる人材の育成を目的とする	開催時期(予定) 平成28年09月 平成28年10月 平成28年11月 平成28年12月	東京	国立がん研究センター
がん相談支援センター指導者等スキルアップ研修 「情報支援から始まるがん相談支援」		相談員	○以下の要件全てを満たしていること 1. 厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」に所属する者であること 2. 1に該当しない場合には、指導者研修を修了した者であること 3. がん相談支援業務に携わる実務者であること 4. がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)を修了していること 5. 施設長の推薦を受けていること ※応募者多数の場合は、指導者研修修了者、各地域における相談員を対象とした研修を企画することへの意欲・実績がある者を優先する	-	②	無	年1回 1日間	50名程度	10,800	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を支援するとともに、地域で活躍するがん専門相談員の個人的なスキルアップを目的とする ○がん専門相談員の専門性である「情報支援」について、信頼できる情報を見極める力を養うとともに、正しく情報を活用し、利用者に応じて伝える力や視点を学ぶ	平成28年05月21日(土)	東京	国立がん研究センター

平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定

※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成28年3月1日現在

研修名	対象					研修期間	募集定員	費用 (税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種		指導者 養成	病院の 種類 (注1)	都道府 県から の推薦						都道 府県	会場名
がん相談支援センター指導者等スキルアップ研修 「相談対応のQA(Quality Assurance)を学ぶ」	相談員	○以下の要件全てを満たしていること 1. 厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」に所属する者であること 2. 1に該当しない場合には、指導者研修を修了した者であること 3. がん相談支援業務に携わる実務者であること 4. がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)を修了していること 5. 施設長の推薦を受けていること ※応募者多数の場合は、指導者研修修了者、各地域における相談員を対象とした研修を企画することへの意欲・実績がある者を優先する	-	②	無	年1回 1日間	50名程度	10,800	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を支援するとともに、地域で活躍するがん専門相談員の個人的なスキルアップを目的とする	平成28年10月07日(土)	東京	国立がん研究センター
がん登録実務初級者研修及び認定試験	職種は 特に問わない	医療機関において、院内がん登録に携わる実務者(携わる予定のものを含む)	-	③	無	-	600名程度	8,640	標準的な院内がん登録の実務の実施に必要な技能を有し、がん診療拠点病院等の指定要件にある「国立がん研究センターによる研修を修了」した実務者としての認定を行う。 認定試験を実施し、所定の成績を収めたものについて認定・初級院内がん登録実務者として、国立がん研究センターより認定証を交付する。	平成28年9月2日(金)	東京	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
			-	③	無	-	300名程度			平成28年9月2日(金)	大阪	新梅田研修センター
			-	③	無	-	200名程度			平成28年9月2日(金)	福岡	福岡県中小企業振興センター
がん登録実務初級認定者研修	職種は 特に問わない	○平成27年度までに、がん登録実務初級認定者となっている者。	-	③	無	年15回 1日間	各回 100名程度	無し	○初級認定者を対象に、 院内がん登録実務に関わる知識・技術の向上を目的とする。 ◎この研修は、初級認定者認定更新試験を受験するための条件として位置付ける。	平成28年5月30日(月)	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年6月6日(月)		国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
										平成28年6月8日(水)		国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
										平成28年6月13日(月)		国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
										平成28年7月7日(木)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年7月12日(火)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年7月20日(水)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月2日(火)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月4日(木)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月9日(火)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月17日(水)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月19日(金)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月24日(水)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年9月8日(木)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年9月26日(月)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
がん登録実務初級認定者認定更新試験	職種は 特に問わない	○医療機関において、院内がん登録に携わる実務者(携わる予定のものを含む)で、平成26年度以前に初級院内がん登録実務者の認定を受けている者。	-	③	無	-	無し	5,400	○標準的な院内がん登録の実務に必要な技能を安定的に保つため、4年に一度認定の更新を行う。 ○平成28年度に実施されたがん登録実務初級認定者研修を受講することが、更新試験を受験する条件となる。 ○更新試験で所定の成績を収めることで、初級認定者が継続される。	平成29年1月23日(月)～27日(金) ※期間内の指定日時		WEB

平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定

※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成28年3月1日現在

研修名	対象								研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種		指導者養成	病院の種類(注1)	都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用(税込み)			都道府県	会場名
院内がん登録実務中級者研修および認定試験	職種は特に問わない	○以下の条件の全てに該当する者 ①平成27年度までに初級認定者となっている者。 ②医療施設で登録実務2年程度の経験、あるいは単独での登録症例数が1000例以上の登録実務経験者。 ※平成24年度から厚生労働省が指定する「がん診療連携拠点病院」以外の医療施設の者も受講可能であるが、「がん診療連携拠点病院」勤務者を優先して選考する。 ③施設長の推薦を有する者。 ○【聴講生枠】の受講条件 ①平成27年度までに初級認定者となっている者。 ②がん登録に関わる業務に携わっている者。 ※③聴講生枠で受講した場合、受講後3年間は「院内がん登録実務中級者研修および認定試験」に申込はできないこととする。	-	②	無	年4回 5日間 +認定試験	各回40名 【聴講生】各回5名	研修無償、試験料5000円 聴講生：20,000円(予定)	○主要5部位以外のUICC TNM分類等の病期分類のコーディングを行うことができ、各種癌取り扱い規約も十分に理解するレベル(登録実務2年以上の経験相当)を目標とする。 ○受講に際しては選考試験を実施し、一定水準に達している者を対象とする。 ○研修後、別途実施する認定試験に合格した実務者に認定証書を発行する。 【聴講生】 ○受講に際しては、履歴書と希望動機を提出し、書類選考にて受講者を決定する。 ○5日間の研修受講のみ。	平成28年6月27日(月)～7月1日(金)	東京	国立がん研究センター内 研究所セミナールーム
										平成28年7月25日(月)～29日(金)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団国際研究交流会館 管理棟1階特別会議室
										認定試験 8月18日(木)、8月25日(木) ※第1回、第2回受講者は、いずれかを選択		国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
										平成28年9月12日(月)～16日(金)		国立がん研究センター内 研究所セミナールーム
										平成28年11月14日(月)～18日(金)		国立がん研究センター内 研究所セミナールーム
										認定試験 12月5日(月)、12月15日(木) ※第3回、第4回受講者は、いずれかを選択		国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
院内がん登録実務中級認定者研修	職種は特に問わない	○平成27年度までに、院内がん登録実務中級認定者となっている者。	-	③	無	年5回 1日間	各回100名程度	無し	○中級認定者を対象に、院内がん登録実務に関わる知識・技術の向上を目的とする。 ◎この研修は、中級認定者認定更新試験を受験するための条件として位置付ける。	平成28年6月22日(水)	東京	国立がん研究センター内 管理棟1階特別会議室
										平成28年7月8日(金)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年7月14日(木)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月10日(水)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
										平成28年8月23日(火)		国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
院内がん登録実務中級認定者認定更新試験	職種は特に問わない	○医療機関において、院内がん登録に携わる実務者(携わる予定のものを含む)で、平成26年度以前に院内がん登録実務中級認定者となっている者。	-	③	無	-	無し	5,400	○院内がん登録実務者として、知識レベルを一定水準に保つことを目的として、認定更新試験を導入する。 ○平成28年度に実施された院内がん登録実務中級認定者研修を受講することが、更新試験を受験する条件となる。 ○更新試験に合格すれば、中級認定者が継続される。	平成28年12月5日(月)～9日(金) ※期間内の指定日時		WEB
院内がん登録実務指導者研修	職種は特に問わない(実務者に限る)	◎欠員が出ている場合等は、都道府県担当部局よりお問い合わせください。	○	②	有	年1回 4日間	6名程度	無し	○中級者以上のレベルの実務者から指導者を育成。 ○都道府県がん診療連携拠点病院に1名以上を配置し、各都道府県内での研修等、当該地域の院内がん登録に関して指導的に関われる体制整備をめざす。 1) 実演演習(講義や演習説明の実演とその評価) 2) グループ学習 からなり実演演習を中心に指導力の評価・向上をめざす。 ○4日間の研修修了後、所属する都道府県主催の研修会で演習指導や支援を行うことで、指導者研修を修了とする。(その際は国立がん研究センターよりファシリテーターを派遣し、評価を行うものとする)	日程未定 ※開催の場合、8月、9月予定	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
院内がん登録実務指導者修了者研修	職種は特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修修了者。	○	その他	無	年1回 2日間	全指導者研修修了者	無し	○指導者研修修了者を対象に行う ○最新トピックス等の情報を共有するとともに、ディスカッションや情報交換から、指導上の疑問点・問題点を解決し、地域での研修等に役立てることを目的とする。	平成28年4月21日(木)～22日(金)	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
院内がん登録実務指導者継続研修	職種は特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修修了者。	○	その他	無	応募者と要相談	各回1名程度	16,200	○講義あるいは演習指導などのスキルアップを希望する者を対象に個別指導を行うことで、指導力を向上させることを目的とする。	日時は、応募者と要相談 ※当センター院内がん登録室へお問い合わせください。	東京	国立がん研究センター内:管理棟等

平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定 ※本計画表は平成28年3月上旬現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。 平成28年3月1日現在

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用 (税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種		指導者養成	病院の種類(注1)							都道府県	会場名
院内がん登録実務データ集計・分析研修(仮)	職種は特に問わない	○院内がん登録全国集計参加施設の実務担当者	-	③	無	年5回(予定) 1日間	各回20名	21,600(予定)	○全国集計のデータを用いて、集計方法や分析等についての実習を行う。	未定	東京	国立がん研究センター 築地キャンパス内
院内がん登録実務Hos-CanR Plus利用研修(仮)	職種は特に問わない	○Hos-CanR Plusを利用している施設、または利用を検討している施設の実務担当者	-	③	無	年3回(予定) 1日間	各回20名	10,800(予定)	○Hos-CanR Plusからのデータ出力方法やそのデータを用いての集計方法等について、実習を行う。	未定	東京	国立がん研究センター 築地キャンパス内
全国がん登録 都道府県行政担当者研修	行政担当者	○都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員。	-	その他	無	年2回 2日間	各回60名程度	無し	○都道府県がん登録情報を活用したがん対策事業の企画支援を目的として、全国がん登録事業や統計の基礎、登録資料の活用方法などを講習します。	(初級) 平成28年5月10日(火)～11日(水) (中級) 平成28年12月13日(火)～14日(水)	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館 セミナールーム
全国がん登録 都道府県実務者研修	がん登録実務者	○都道府県のがん登録室に勤務するがん登録実務者。 (医療機関において院内がん登録のみに携わる実務者は対象としません。)	-	その他	無	年2回 2日間	100名程度	無し	○全国がん登録実務の基礎講習として、都道府県がん登録室の実務者の基礎的技能習得を目的に、講義と演習などを実施します。	(初級) 平成28年5月10日(火)～11日(水) (中級) 平成28年12月13日(火)～14日(水)	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館
地域におけるがん化学療法薬剤師研修企画実施にかかる指導者養成研修	薬剤師	都道府県がん診療連携拠点病院を中心に各都道府県で求められるがん化学療法に従事する薬剤師の向上を目的とした研修を企画実施する意志のある薬剤師	○	②	有	2日間	30名程度	10,800	○都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件として、「都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施」が求められおり本研修は、都道府県がん診療連携拠点病院が中心となって地域がん診療連携拠点病院をはじめとする施設と連携し、当該都道府県におけるがん化学療法に携わる薬剤師の現状や課題を把握し、当該都道府県で求められる、がん化学療法に従事する薬剤師の向上を目的とした研修を企画・実施するための指導者育成を目指す。	平成29年1月27日(金)～28日(土)【予定】	東京	国立がん研究センター 特別会議室
都道府県がん対策担当者研修	行政担当者	○都道府県のがん対策担当課の職員。	-	その他	無	年1回 2日間	100名程度	無し	○がん対策を的確に評価し、その評価結果をPDCAサイクルに反映させ、計画目標を効果的に達成することが都道府県のがん対策を進めていく上での重要な課題と考え、これらの課題解決を支援できる研修を実施する。具体的には、参加した都道府県の担当者が、がん対策を進めていく上での自都道府県の重要な課題を把握し、その課題の克服に向けて取り組むべきことについて整理し、各都道府県が今後行なっていくがん対策の評価に活用できる評価方法について研修する。また、参加者が他都道府県の参加者及び有識者と情報交換や関係構築できるグループワークやグループディスカッションの機会を提供する。	平成28年7月7日(木)～8日(金)	東京	国立がん研究センター 特別会議室
病理診断研修	病理医	がん診療に携わる医療機関で、病理診断に従事する医師。	○	③	無	1日間	100名程度	検討中	○がん病理診断は日進月歩であり、最近では遺伝子診断を併せた診断や治療コンパニオン診断としての役割も担うようになった。最新のがん病理診断技術・知識の普及は、がん医療にとってきわめて重要である。本研修により、がん病理診断に携わる病理医に最新の診断技術・知識の普及を図り、がん病理診断の均てん化を促進する。	平成28年6月19日(日)	東京	国立がん研究センター内 がん研究振興財団 国際研究交流会館